

写真>>
スノーシューとウィンターランチ
から>>

裏磐梯発エコツーリズムの普及事業に向けて

福島県より「ふるさと雇用再生事業」の委託を受け、平成21年度より3年間裏磐梯からエコツーリズムの普及へ向けて県内へ情報を発信する「裏磐梯発エコツーリズム普及事業」を実施しています。

ばんだい たからびと

【磐梯の宝人】

裏磐梯のウワサの“達人”
今回の達人は、
北塩原の最後の木地師
「大竹 繁」さんです。



大竹さんは、大正6年お生まれの御年94才。木地師の全盛期の頃は、かつて早稲沢集落の中に流れていた川を利用し、作りためた木地を流して、その下流にあった木地工場でひきあげていたという。そこには自然と上手に付き合っていた人々の暮らしがありました。木地師の仕事も需要がなくて衰退していった…というよりは、先に「木を守るためにはどうしたら良いか」という発想でナメコ栽培や農業などへ転換していった過程を教えてくださいました。時代のニーズを先取りするという先見の眼に驚きつつ、持続可能な自然という観点においても、まさにエコツーリズムの先駆者です。



目次

P.1

スノーシューとウィンターランチ

北塩原村の人々の暮らし調査

P.2

水のエコツアー参加者募集

第4回裏磐梯雪祭り

のご案内

磐梯山とあだたらと…絶景に歓喜の声！

1月24日(火)、今年度最後の“ばんだいの宝発見講座”を行いました。今回の講座は、スノーシューで雪のフィールド探検。桧原湖から小野川湖へ注ぐ長瀬川に沿って上流を目指し、カラマツやハンノキの林の中を磐梯山の噴火による流れ山を眺めたり、動物達の足跡を追って追跡するなど、冬ならではの裏磐梯を楽しみました。福島市や白河市、郡山市からも参加者をお迎えし13名の雪山体験ツアー。青空の下、風もなく、太陽の温かな日差しを浴びて雪の裏磐梯に触れる。たくさんの発見もありました。

いつもすぐ近くを車で通っているはずなのに、一歩踏み込んだだけでなんと魅力的なもので満ち溢れているのでしょうか！膨らみ始めた冬芽にウルトラマンだと大騒ぎし、動物達の足跡に「ここで飛び降りたから、この辺の枝にいるかも」って追跡調査をしたり。川のせせらぎに耳を傾け、雪帽子と輝く水面に目を細めて、ちょっとだけもの思いにふけったり…。最後に急な斜面を登って小高い流れ山に上がったら、磐梯山とあだたら山、東吾妻と西吾妻の大パノラマが目の前に広がって大きな歓声が上がりました。

コースを一周した後は、待ちに待ったランチタイム。自分たちでテーブルとイスをこしらえて、湯気が立ち上るダッチオープン料理に舌鼓をうちました。今日、出会ったばかりの仲間達。でも何年も一緒にいるような親近感。次はナイトハイクに挑戦！と次の約束もできました。「近くにいても知らない事がいっぱいある。知らない景色に出会える。こんなに元気になれる自分に会える」エコツーリズムには、自分を豊かにするヒントがいっぱい！この次は、一緒に出かけましょう。

「北塩原村の人々の暮らし」聞き取り調査

今年度の事業計画で企画した、北塩原にお住まいの古老から、この村の気候や風土にあった人々の暮らしや村の変遷などをお聞きするという調査。やっとこの冬から少しづつお話をうかがっています。今回の宝人でご紹介した大竹さんや村のおばちゃん達のお話、また檜原村調査についてもこの企画の一環です。時の流れとともに変わっていく村の姿をお聞きするうちに、その方の人生観やお人柄が見えて誰もが宝人だなあ、とつくづく実感します。

先日は、山菜などを採りに行って遭遇した不思議な話…に話が及び、遠い祖先が自然に対し畏敬の念を持ち、神仏を敬いながらつつましく暮らしてきた思いをおぼろげながら理解できたように感じました。右の写真は、藁で作った「げんべえ」という履物。現代風にアレンジしてあるものの、しっかりした手仕事に、古人の知恵と技が活かされている！と驚きました。



ワラで作った「げんべえ」

裏磐梯エコツーリズム協会

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村

大字桧原字小野川原 1092-65

TEL 0241-23-7860

FAX 050-7541-2411

www.eco-urabandai.com



源流域裏磐梯の水を守ろう！

2012 2月

猪苗代湖裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会 協力

エコツアー “水”ってなんだろう？

- 日 時／2012年2月4日（土）9時20分～15時00分まで
- 会 場／裏磐梯サイトステーション
- 講 師／石川 治 氏（プロジェクトウェット 上級指導員）
- 対 象／小学4年生以上の子供さんと保護者の皆さん
- 持 ち 物／飲み物、お弁当、替えの靴下など（スノーシューはこちらで準備します）
- 服 装／スキーウェア、帽子、手袋、防寒靴
（長靴の場合は足が動かないように厚手の靴下をはいて下さい）
- 定 員／先着20名 ●受講料／無料

雪がいっぱいの裏磐梯。湖や沼はすっかり雪に覆われて、厚い氷が張っています。裏磐梯にはたくさんの湖沼があり、下流域に住む人達の大事な水源地となっています。この真冬の時期の水がどうなっているのか、皆さんは知っていますか？湖の氷の下にある水を採ったり、雪を溶かしたりした水を科学（調査）してみませんか？今回は、“見えない、触れることもできない間接水”についても、お話を聞いたりゲームをしたりして学びます。「さあ、水調査隊の諸君！雪の湖沼群へ出発だー」

「第4回 裏磐梯雪まつり 2012」

冬を遊ぼう！「郷土・雪・エコ」を考える & 楽しむ

- 会 場／裏磐梯サイトステーション
- 期間中の協会主催のイベントをご紹介します！申込不要ですのでこの機会にぜひ。

ミニコンサート

- 平成24年2月18日（土）
- 午後19：00～

キャンドルの灯りがともった幻想的な夜・・・。
揺らめく炎と響き渡る音楽の調べをぜひ大切なあの人と。

守り狐絵付け エコキャンドル作り

- 平成24年2月17日（金）～19日（日）
2月24日（金）～26日（日）
- 午前10：00～12：00

遠い昔、木地師が伝えた木地玩具。郷土の人々や森、子供達を守る狐の神様「守り狐」を作ろう。震災復興の願いを込めてエコキャンドルを作ろう。失われた尊い命に、鎮魂の灯と祈りを。

「ばんだいの宝発見講座」

今年度よりカレッジの名前を新たに「ばんだいの宝発見講座」といたしました。皆さんと共に、磐梯の宝をたくさん発見していきたいと思っております。

この講座では、観光地としての魅力（自然・歴史・文化・人材）を掘り起こし、それを学び、守り、伝える活動を通し、質の高いサービス（おもてなし）の提供を可能にする事を目的とし、住民総ガイドを目指しています。

講座には、どなたでも参加できます。ぜひ、一緒に裏磐梯の宝を再発見・再認識いたしましょう！

※福島県ツーリズムガイドの地域講座に該当しています。3講座を受講の方には修了証を発行いたします。

源流域裏磐梯の水を守ろう！

「飲み残しゼロ運動」展開中！

ペットボトルを半分飲んだまま、缶コーヒーを残したまま、日頃つい残してしまう、コップの中身を流してしまうと、きれいな水に戻すにはその数倍の水を必要とします。油に気を使うだけでなく、ふだんの飲み物にも気を使いたいですね・・・。

<参加申込み>

必要事項をご記入の上、ファックス又はお電話にてお申し込みください。

裏磐梯エコツーリズム協会 ■ F A X : 050-7541-2411 ■ 電話 : 0241-23-7860

※締切りは各講座の前日です。準備等ございますので予めお申込み頂きます様、お願い致します。

参加申込書

※ご希望の講座にチェックをご記入ください

ふりがな 名 前	(S・H 年 月 日 歳)	申込み 講座	2/4 <input type="checkbox"/> 水のエコツアー
住所	〒		
電話	F A X		
E-mail	※ご記入いただきますと、次回からエコツアー通信をメールにてご案内いたします。		

※ご記入いただきました個人情報、当協会カレッジの案内に使用し、それ以外の目的で使用することはありません。